

平成23年行政事業レビューシート (文部科学省)							
事業名	ヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラム	担当部署	科学技術・学術政策局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度	担当課室	国際交流官付	国際交流官 匂坂克久			
会計区分	一般会計	施策名	VII-4. 科学技術の国際活動の戦略的推進				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-	関係する計画、通知等	第4期科学技術基本計画(平成23年8月閣議決定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	国際的な知的公共財の創出や地球規模課題の解決に資する科学技術協力を国際機関への拠出を通じて行い、我が国の科学技術の戦略的推進を図ることを目的としている「国際機関への拠出等」のうち、ヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラム(HFSP)は、学際性、国際性、若手重視の基本理念に基づく、生体の持つ優れた機能解明に寄与する基礎研究に対する国際共同助成制度である。国際HFSP推進機構への拠出により、国際的な知的公共財を創出し、広く人類全体の利益に供するとともに、科学技術の分野で我が国が国際社会における先駆的役割を果たすことを目的とする。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	「国際機関への拠出等」のうち、本事業は、国際HFSP推進機構の活動である。①国際的・学際的共同研究チームに対する研究助成(研究グラント)、②若手研究者が国外研究を行うためのフェローシップ、③フェローシップ受賞者の母国での独立を支援するキャリア・ディベロップメント・アワード、④受賞者会合等の実施に必要な経費を拠出するものである。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算の状況	当初予算				1,488	1,488
		補正予算				0	
		繰越し等				0	
		計				1,488	1,488
	執行額						
執行率(%)							
成果指標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	本事業は、科学技術の分野で我が国が国際社会における先駆的役割を果たすため我が国が提唱したものであり、国際HFSP推進機構への拠出により、国際的な知的公共財を創出し、広く人類全体の利益に供することを目的としていることから、定量的な指標による評価になじまない。	成果実績	—	—	—	—	—
	達成度	%	—	—	—	—	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	研究グラント助成実績(総受賞者数)	活動実績 (当初見込み)	人	99	111	113	—
				—	—	(—)	(—)
	フェローシップ助成実績	活動実績 (当初見込み)	件	107	100	86	—
				—	—	(—)	(—)
	CDA(キャリア・ディベロップメント・アワード)支援実績	活動実績 (当初見込み)	件	21	22	16	—
				—	—	(—)	(—)
単位当たりコスト	-	算出根拠 日本政府の拠出金は、グラント・フェローシップ・CDA支援等のHFSPの活動に使われるが、用途の割合を特定して拠出しているわけではない。そのため各アウトプットに対応するインプットの額を特定できないことから、単位当たりコストは算出できない。					
平成23・24年度 予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	生体機能国際協力基礎研究拠出金	1,488百万円	1,488百万円				
	計	1,488百万円	1,488百万円				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	平成21年度の行政事業レビューの指摘を踏まえ、本事業の前身「生体機能国際協力基礎研究の推進」を平成22年度限りでいったん廃止した上で、平成23年度は国際機関に対して拠出を行う他の事業とともに「国際機関への拠出等」へ整理統合し、予算を縮減した。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	本事業は、平成21年度行政事業レビューの指摘を踏まえたものとなっており、執行面における課題もなく、事業の成果目標も立てられていることから、適切な事業と認められる。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※当該資金の流れは、予算積算上において想定される資金の流れを記載したものであり、実際の資金の流れとは異なる可能性がある。

文部科学省
(1,488百万円)

国際HFSP推進機構の活動である、生体の複雑な機能の解明を対象として若手研究者を中心とする研究グラント等、HFSPの各種事業の実施に必要な経費を拠出する。



[A]

[拠出]

国際ヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラム推進機構
(1,488百万円)

国際HFSP推進機構の活動である、国際的・学際的共同研究チームに対する研究助成、若手研究者が国外研究を行うためのフェローシップ、フェローシップ受賞者の母国での独立を支援するキャリア・ディベロップメント・アワード、受賞者会合等、HFSPの各種事業を実施。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)

A.国際ヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラム推進機構			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
拠出金	研究グラント事業、フェローシップ事業、学際的フェローシップ事業、CD A、受賞者会合を実施するための経費	1,488			
計		1,488	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)